

防 除 情 報

長崎県病害虫防除所長

令和8年度病害虫発生予察防除情報第6号

麦類赤かび病の防除対策について

気象予報（福岡管区气象台、令和8年3月12日発表）によると、向こう1か月の気温は平年より高いと予想されています。一方、降水量は平年並かやや少ないと予想されていますが、出穂期以降の雨の降り方によっては本病の発生が懸念されます。防除適期を逸しないように下記の点に留意して対策の徹底をお願いします。

記

1. 防除対策

- (1) 本病は、出穂期以降に気温が高く曇雨天が続くと多発するので、出穂期以降の気象推移に注意する。
- (2) 発病を認めてからの薬剤防除では効果が劣るので適期防除に努める。また、曇雨天が続く場合は、必要に応じて追加防除を行う。
- (3) 小麦、はだか麦では、開花の最も盛んな時期（出穂期の概ね7日後）とその10～20日後に薬剤散布する。
- (4) 二条大麦では、葯殻抽出始め（穂揃期の10日後）（図参照）とその概ね7日後に薬剤散布する。
- (5) 麦の生育ステージは品種や圃場により異なる（参考）ので、圃場の見回りに努め、生育ステージを把握した上で防除を実施する。



図 二条大麦の葯殻抽出始め
(九州沖縄農業研究センター原図)

参考 各品種の出穂期（長崎県農林技術開発センター、諫早市）

麦種	品種名	本年値 (予測日)		平年値	
		播種期	出穂期	播種期	出穂期
二条大麦	はるか二条	11/18	3/15	11/17	3/12
はだか麦	長崎御島	11/18	(3/22)	11/17	3/22
小麦	チクゴイズミ	11/25	(3/30)	11/25	3/26
小麦	長崎W2号	11/25	(4/8)	11/25	4/4

注1) 平年値は過去5か年の平均値

本年値の出穂期は3月16日時点の予測値

注2) 出穂期：全茎の40～50%が出穂した日

穂揃期：全茎の80～90%が出穂した日

注3) 小麦のチクゴイズミの出穂期に関しては、参考値である。

2. 防除上注意すべき事項

麦種ごとに薬剤の使用基準が異なる場合があるので、使用にあたっては収穫前日数及び使用回数に特に注意する。

○長崎県病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病害虫発生予察室
(長崎県病害虫防除所) ホームページ」アドレス

： <https://www.pref.nagasaki.jp/e-nourin/nougi/JPP/index.html>

○この情報に関するお問い合わせ

長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病害虫発生予察室
(長崎県病害虫防除所) TEL：0957-26-0027

